

そこに3ぴきのメスがいるじゃろ
お前に1ぴきやろう！...さあ、えらべ！



ふむ...天野 ネネにするんじやな！
▶はい いいえ



「さあ、こっちはおっぱいねネネちゃん」
ネネちゃんのアイドルま○こり犯してあげるからねえ」



「さ、さあ……た、助け……♡♡♡♡」

「いやあああああああああああ……ツツツ!!
うぐ……動か……ない……でえええ……!!」



「ハアハア……熱い……奥まで入って……くる……
く苦し………抜いて………抜いてえ………」



「ネネちゃんのおま●こにいつぱい中出しして
孕ませてあげるからね♪楽しみだなあ♪
アイドルのネネちゃんが俺の子を産むんだ♪」



「3、34・・・そんな・・・そんなの・・・
34あ・・・やめ・・・やめてえ・・・=」

「孕め孕め♪ネネちゃん孕め♪
アイドルま●こ孕め〜♪」

「嫌あ。。。!!抜いて。。。抜いてえ。。。!!
孕むなんて嫌。。。嫌ああ。。。!!」



「あううう……。ツリ目の前が……。チカチカして……。頭……。真つ白に……。なつて……。」

「おい、いきそうなんだね、ネネちゃん、アイドルが俺のチ○ポで突かれていくんだね。」



「ちがッ!?ち、ちが……。!?あ……。あああ……。ツツ」

「一緒にイこうねネネちゃん、俺もイくよ、
中出しでイかせてやる、イけーイけー!!イけッ!!」



ハッ♡

びんぽ

ハッ♡

ハッ♡

「熱い。。。熱い。。。ッ!?入って。。。くるう。。。!!」



「ハアハア。。。お願い。。。抜いてえ。。。
本当に。。。赤ちゃん。。。できちゃ。。。」



「もうネネちゃん俺のモノだからね♪
絶対孕ませる♪そおら♪抜がずに2回戦だよ」

「いやあああああああああああああ……ッ!?
もうやめてえ!?お願い……。やめてえ……。!」



ふむ...陽ノ本 アカリにするんじゃな！
▶はい いいえ



「3・・・3や・・・3やあ・・・333」

「さあ、スワレへ行ってうねアカリちゃん、
今からこのチ○ポで、君の処女を奪ってあげるからね」



「あ・・・あ・・・助け・・・で・・・
助けて・・・タイキ・・・」

『あああああ。。。ッ!?
痛あああああああああああああああああああッ!?』

ぐわん
ぐわん
ぐわん



「気持ちいいね♪アカリちゃんの初めて♪
美味しくいただいたよ♪」

「ヘアヘア……ひ、ひどい……初めては……
タイキに……あげたかったのに……うぐ……」



「すぐに初めての時の事なんてどうでもよく
なるようにしてあげるさ」

「うやうやう、何度も何度もおま○こを犯してね」



「うあああああああああああああ………
動かないでえええ………壊れちゃうぅぅ」

『そのうち、このチ○ポが大好きになるさよ、
タイキ君の事よりずうとね♪』

『な、ならない……そんな風に……ならない……ッ!』



『うああああああああああああああああああああ。。。』



『そ、そんな。。。奥までえり壊れる。。。
本当に。。。壊れ。。。ちゃ。。。う。。。う。。。う。。。』

「3つは3中に精子出すからね、
ちゃんとおジサンの赤ちゃん孕むんだよ」



「おははは、さあ……さあ……
無理……赤ちゃんなんて……無理……」

「ゼロ♪発射あ♪」

!?!? !?!? !?!?

[illegible]

「あ……あ……熱い……ぬ、抜いて……
早く……抜いて……」

「赤ちゃん……本当に赤ちゃん……できちゃった……」



「赤ちゃんできたらタイキ君に見せに行こうな♪
さあ、抜かずに二回戦だ♪絶対に孕ましてやるからなあ♪
アカリいっ!」

「あぐあああああああああああ。。。ツツ
もうやめてえ!!許してえ。。。!?嫌あああああ。。。ツツ」



ふむ...洲崎 アイルにするんじやな！

▶はい いいえ



「グフフフ、アイルちゃん、
今日から君は僕のモノだよ、
さあ、お互いの初めてを交換しましょうねえ」



「いやああああ・・・ツ!!
嫌!!嫌ツ!!嫌ツ!!来るな!!来るなあ!!
キモいーキモいーキモいー無理無理無理!!」

「そおくれ♪いただきまあ〜す♪」

「いだああああああああああああああああああツ!?
痛い痛い痛いいいいッ!」



「僕の童貞奪ってくれて、ありがとうね♪アイルちゃん♪アイルちゃんの処女♪美味しかったよぉ♪」

「いやあああ……!!こんな……こんなヤツにい……!!」



「アタシの初めて・・・こんなキモいオヤジに・・・
返して・・・返しなさいよ!!」

「ディルちゃん♪初めてなら、まだあるでしょ？」



「ただいまあ〜す〜んまんまんま〜」

「んんん。。。ツ!?!?!?!んぶツ!?!おえ。。。に!」



ちゅっ♡



「ぎ、キス!?キスしたあああああああ。。。!?」

『ジュルルルルルッ!?おえ。。。ッ!?』



ちゅっ♡



『んぶぶぶッ!?』舌。。。!?入れるなあ。。。!?
気持ち悪い。。。!?アタシの回の中。。。舐めまわすなあ。。。!?』

「ぶはぁ〜♪ごちそうさま♪アイルちゃんのおの中
とっても美味しかったよ♪」

「ハアハア。。。最悪。。。最悪！最悪。。。!!」



「アタシの初めて。。。全部奪われた。。。!!」

「うう。。。まだ口の周り臭い。。。最低！はやくどっかで気持ち悪い!!」



「まあまあ♪アイルちゃん♪初めてなら、まだあるじゃないか♪」

「あぐああああああああああああああああ……!？」



「ぐぐ……動く……なあああ……!？んああああああ……!？」

『次はアイルちゃん。。。初めての。。。妊娠だよ。。。』

『え。。。？は。。。？な、何言つて。。。？』



『う、嘘でしょう？そんな。。。アタシ。。。い、嫌。。。！
妊娠なんて。。。無理。。。無理だから。。。』

『うんしょ♪うんしょ♪孕め♪孕め♪』

[illegible]

「無理・・・！無理い！抜いて！抜いて！！
抜きなさいよおお・・・！！あぎいい・・・！！」

「出すよ、出すよ、濃いを出すよ」「発で孕ませちゃうからね」

「いやーいやあッ!? 出すな! 出さないでよおおッ!!」
何でも言う事きくから・・・お願いだからあ!!」



「じゃあ、アイルちゃん、結婚しよう、僕のお嫁さんになって」

「嫌に決まって・・・!!」

「だあゝめ、もう決めたからね、そら、孕め孕め」



お・おえ・!?おええ・!?んぶツ!?ジュブブブブブツ!?」



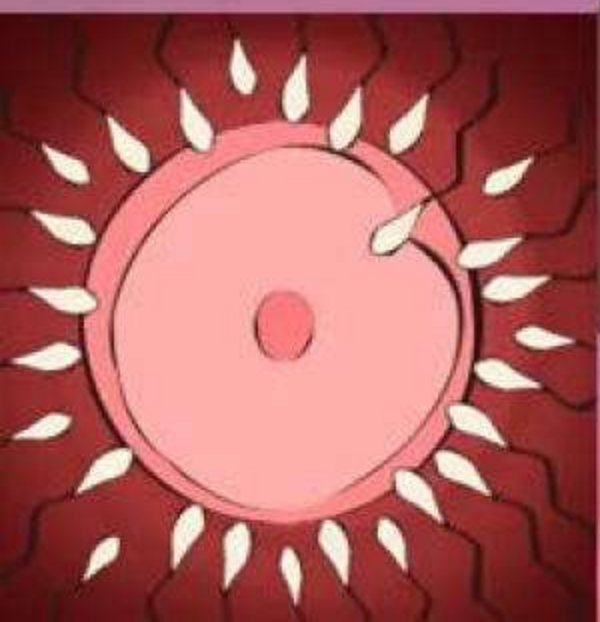
विष्णु

「まじ、うん、うん、うん」

『おおおお。。。出た出た♪人生で一番濃いのが出たよ♪
こりや妊娠したな♪これでアイルちゃんは僕のモノだよ♪』



『ひゅー。。。ひゅー。。。あ。。。あが。。。ッ』



『ぞおら♪中の精液まぜまぜしようねえ〜♪』

『んおおおお・・・ッ!おぐおお・・・ッ!♡』



けいけい

しゅぽ

スッぽ

しゅぽ



けいけい

スッぽ

しゅぽ

『抜いて・・・!?抜いてえ・・・!?混ぜちゃダメえ・・・ッ!♡』

『ごら♪暴れてもだあくめ♪ちゃんと僕のチ●ポの形を

覚えるんだよ♪このまま二回戦しようねえアイルちゃん♪』

.....おや!?
天野 ネネの ようすが.....!



「んああああああ……ッ!?もう……
もうやめ……やめ……でえ……!」



「さっまで。。。つづける。。。つもりなの。。。？
本当に。。。私。。。壊れちゃ。。。」

ぐちゃ

ぱちゅ♡

ぱちゅ♡

ぱちゅ

ぐちゃ

ぱちゅ

ぱちゅ

ぱちゅ

「ごめんね、ネネちゃんの身体。。。
エッチすぎて全然チ●ポ満足できないよ。
それに。。。」

『おおお。。。♡お。。。♡んおツ!♡』

『ネネちゃんもチ○ポの気持ちよさ♡おま○こが
覚えてきたでしょ?』



『チ○ポ気持ちさらけ出して♡』

『ちが。。。そんな事。。。な。。。ム?』

「あ……え……。？何で……。止ま……。」

「動き止められるとおま●こ切ないよね？」



「動いて欲しいでしょ？」

「チ●ポでおま●こかきまわして欲しいでしょ？」

「こんな風に……ッ!!」

「あへええああああああああ……ッ!!」

ぐちゃ

ぱちゅ♡

ぱちゅ♡

ぐちゃ

ぱちゅ♡

ぱちゅ♡

ぱちゅ♡

ぱちゅ♡

「どうして……?嫌なのに♡嫌なはずなのに♡
気持ち悪いの……止まらなあい……♡」

「君の身体が俺を受け入れた証だよ」

「そんな事……ない……♡」



「ネネちゃんの身体は俺の子を孕みたくって思ってるんだ」

「ふんっ……♪一番奥の赤ちゃんの部屋♪子宮に
また精子流し込むよ♪」



「だ、ダメ……本当に……妊娠しちゃう♡」

「ふんだよ♪妊娠しちゃおう♪赤ちゃん孕もう♪」

「ほら、身体は欲しがってるよ、気持ちよくて精子欲しいうて言うてるよ」

「おほッ!?♥だ、だめえ。。。♥欲しがっちゃダメ♥気持ちよくなっちゃダメ♥んおお。。。♥」

ぐちよ

ぱちゅ♥

ぱちゅ

ぱちゅ

ぱちゅ♥

ぱちゅ

ぱちゅ

ぐちよ

ぱちゅ



「一緒にイこうなネネ♪二人で気持ちよく
赤ちゃん作ろうな♪」

ぐちよ

ばっや
♡

ばっや
♡

ぴん

ぐちよ

ぴん

ぴん

ぴん

「やめてえ。。。♡ダメなの。。。♡
赤ちゃん作っちゃダメ♡気持ちよくしてなうでえ♡」



「戻れなくなる。。。♥私が。。。私で。。。なくなっちゃ。。。♥」



「ダメ。。。♥イク♥いつちゃう♥イク♥いつちゃう♥もう我慢できな。。。♥」

「中に出すぞー！さあ、イケー！ネネ！！」

『イクううううううああああああああああああああああああッ!!』

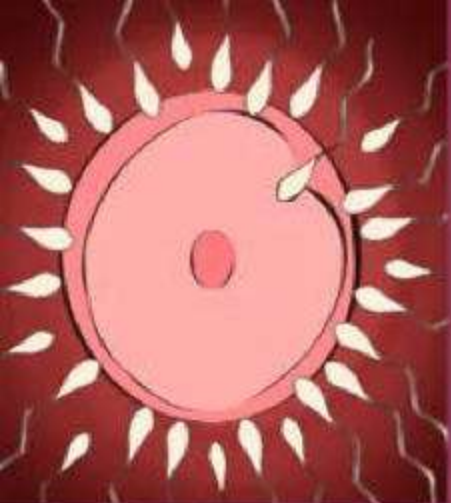
ド
スト
ド

ド
スト
ド

ド
スト
ド

ド
スト
ド





「ハアハア。あ。あ。いっぱい。」

「んおおおおおお。。。♡♡♡♡♡おおおお。。。♡♡♡♡♡
激しい。。。♡もう。。。やめてえ。。。♡♡♡♡♡」

ぐちゃ

ぱちゅ♡

ぱちゅ♡

ぐちゃ

「ネネは俺のモノだ！もう俺の女だ！！
結婚しようなネネ♪赤ちゃんいっぱい作ろうな♪」

ぱちゅ

ぱちゅ

ぱちゅ

ぱちゅ

.....おや!?
陽ノ本 アカリのようすが.....!





「んむううう。。。ッ!?嫌あ。。。!?
離して。。。もう嫌。。。助け。。。助けてえ。。。!!」

「さあ、動くぞ♪アカリ♪」

「だ、ダメ……。りやめッりんああッ!?もっ……。動かない……。でえ……。!?」



「やめてえ。。。そんな事。。。んんツ!?
言わないれえ。。。!?妊娠なんか。。。したく。。。ないい。。。!?」

言わないれえ。。。!?妊娠なんか。。。したく。。。ない。。。『!?』

言わないれえ。。。!?妊娠なんか。。。したく。。。ない。。。『!?』



「ジュルルルルルッ!?♡いやあ。。。!?♡
お腹の奥。。。熱い。。。♡やだ。。。やめてえ。。。♡」

『私の身体。。。♡赤ちゃん作る準備しないでえ。。。♡赤ちゃん欲しがつちやダメえ。。。♡』



「ジュルルルルルッ!♡いやあ。。。♡
お腹の奥。。。熱い。。。♡やだ。。。やめてえ。。。♡」

「私の身体。。。♡赤ちゃん作る準備しないで。。。♡
赤ちゃん欲しがっちゃうダメえ。。。♡」



「絶対孕ませてやるからな♪アカリ♪お前も欲しいだろ?」
このチ●ポで妊娠したいだろ?」

「そんな。。。そんな事。。。な。。。」

「妊娠なんて。。。したく。。。な。。。」



『んあああ。。。ツ!?♡いやあ。。。♡』

そんなにチ○ポ。。。擦らないでえ。。。♡」

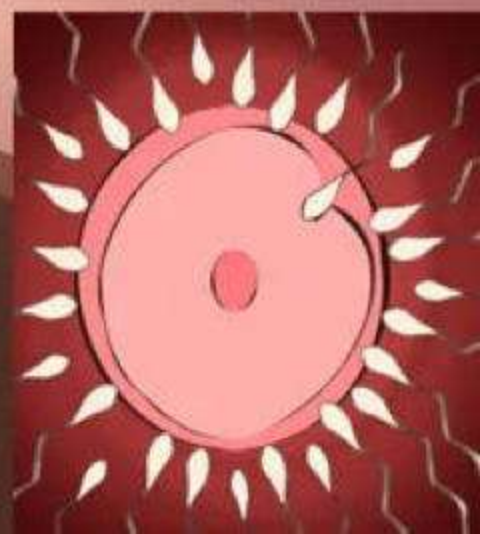
「もう。。。もうやめ。。。ジュルルルルルッ♡
やめれえ。。。♡いつちや。。。♡いつちやう。。。ッ♡」

「33ぞー」一緒にイクぞー孕みながらイけー」
「3やあ。。。♡孕むの嫌あ。。。♡
ブジュルルルルッ♡んむう♡んああ。。。ッ♡」





「あ。。。♡んああ。。。♡は、入ってくる。。。♡
私の中。。。♡入って。。。♡きちや。。。♡う。。。♡♡」



「まだまだこれからだ♪アカリ、メス犬らしく
尻をこつちに向けなさいよ」

「ジュルルッ♡は、はい。。。♡」



『赤ちゃんできたら結婚しような♪アカリ♪』

『あはあああああああああ……ッ!?♡
だ、ダメえええ……。!?結婚なんて……。ダメえ……。!?♡』

『結婚なんて……。できな……♡!?
やだあ……。♡やめてえ♡赤ちゃんダメえ……。♡
もう出さな……♡孕ませないでえええ……。!?♡』



.....おや!?
洲崎 アイルのようすが.....!





『あ……。ツ!? あああ……。ツ!? ♡
んああああああああああ……。ツ!? ♡』



ビュッ♡

「え……？何……？ア……」

「おお、出た出た、母乳だな、うしろで妊娠したなアイル」



「妊……娠……？ち……ちがう……！違う！！」

『アイルとおじさんとの赤ちゃんができたんだよ!』

『んあああああ。。。!?♥で、できてないらーるっ!』



『赤ちゃんなんて。。。できてないらーるっ!♥!』

「そうか、まだ妊娠していないのか、
じゃあ……。妊娠できるように……。
また、た~~~~つぷりと精液中出ししないな。」



「い、嫌！嫌ああ……。中出しやダ！！
出すな！出すなあ！！ホントに……。できちゃ……。！？」

「アイル♪お前の身体の事はもう・・・お前よりも
知ってるんだ♪こうされると気持ちいいだろ?」



「おおおお・・・ッ!?♡ち、ちが・・・♡
んおッ!?♡そ、そこ・・・ダメえ・・・♡」

「あへえあああ・・・!?!♡好きじゃない♡」



『さあ、また出すぞ、中で出すぞ、
今度こそ孕んでもらうぞ』



『あ……あああ……!?やめてえ……!!
孕むなんてやダあ!!中に出さないでよお!!』

『孕め孕め♪赤ちゃん作るぞ♪孕みながらイけ♪』

『おお。。。♡おお。。。♡おお。。。♡おお。。。♡』



『イク♡イク♡イツちゃう♡中に出されてイク
中に出されてイツちゃううううッ!?♡』



「ああああ。。。♡イぐの止まらないくら。。。♡
精液♡中出し止まらないくら。。。♡」



『さあ、このままベッドに行くぞアイル♪
たつぷり愛し合おうな♪
二人の赤ちゃん作ろうな♪』



『あ……あ……♡抜いてえ……♡
『レ……抜いてえ……♡♡』

「愛してるぞアイル♪元気な赤ちゃん作ろうな♪赤ちゃんできたら。。。結婚しような♪幸せになろうなあ〜♪」



「んぽううう。。。♡ジュルルルルルツ♡んぼええツツツ!?♡」



「おッ♡おッ♡おッ♡おッ♡おッ♡おッ♡おッ♡」



「喜べよネネ♪妊娠してたぞ♪俺との子ができてたぞ♪」

「に……。妊娠……。私……。赤ちゃん……。
できちゃった……。の……。?」

「そっだぞネネ!これでお前は完全に俺の女だ!」



「結婚しようなネネ♪俺の妻になれ♪」

「んあああ……ッ!? 結婚……!?」

「あ……あああああ……ッ!?」





イク♡

イク♡



イク♡

イク♡

『イクううううううあああああああああああああああああああッ!!』

「良かったなあ♪アカリ♪
赤ちゃんできてたぞ♪俺達の赤ちゃんだ♪」

「あ。。。あはは。。。
できちゃった。。。この人との赤ちゃん。。。
もう。。。戻れないんだ。。。私。。。へへ。。。」



『あ……。♡あああ……。♡』

『言ったよな？アカリ♪赤ちゃんできたら……。どうするんだっけ？』

『ヘアヘア……。♡結婚♡結婚する♡赤ちゃんできたら結婚するううう……。♡♡』



『おんこおんこ。。。♡おんこおんこおんこ
全部おんこおんこ。。。♡』

『気持ちいい事だけしたい♡全部忘れたら
気持ちいい事で全部忘れさせてえ♡』





「あへえあああああああああああああああああああああッ!」

「良かったなあアイル♪赤ちゃんできてたぞおおんぶ」

「あああああ……!?嘘……嘘おおおお……!!」



「そんなの嘘!!信じない!信じないからあ……!!」

あ……あ……赤ちゃんなんてできてない!できてないららら!!」



『三人の愛の結晶だぞアイル!これからもういっぱい愛しあおうな!』

『んんんんんんんんんんん?舌。。。入れるなあああ。。。!?!』



『キス。。。嫌あ。。。!?!脳ミソ溶けるう。。。!?!♡』

『ジュルルルルルッ♡頭。。。真っ白になるうう。。。!?!♡!?!』

「んぶあああああああああ・
・・・!?」
♥



もうイぎだぐない♡イぎだぐないいいいいい...!!?♡



「んああああ♡♡♡♡♡」



「ああ♡♡♡♡♡あ♡♡♡♡♡あ♡♡♡♡♡」



「激うさ。。。♡♡♡♡♡」



「やあ、アイルさんちさな」

「は、はい♡わ、私。。。洲崎アイルはご主人様の赤ちゃんを♡
妊娠しましたあ♡」

「オラアアカリ！お前もだ！」

「ハアハア♡私、陽ノ本アカリはお腹に赤ちゃん
できました♡ご主人様の赤ちゃんできましたあ♡」

「ネネ、君の番だよ」

「に、妊娠。。。♡私、天野ネネは妊娠しました♡
ご主人様に孕ませてもらえました♡」

『妊娠したら。。。どうするんだ？』

『け、結婚。。。します♡結婚します♡
ご主人様と結婚するううう♡』



『私も♡私も結婚する♡ご主人様のお嫁さんになる♡
ご主人様のお嫁さんになったさうさうさ。。。♡』



『なる。。。♡なるう。。。♡お嫁さん。。。♡
ご主人様のお嫁さんになる♡私と結婚してえ♡』



『あああ。。。♡チ○ポ大きくなったあ♡
デカチ○ポ♡ご主人様のデカチ○ポおお。。。♡』



『すいすい。。。♡主人様のチ○ポ気持ちいい♡
こんなチ○ポのお嫁さんになれて幸せ。。。♡』



『すいすい♡お嫁ま○んの中出し♡
受精済ま○んに精液流し込んで♡チ○ポでイかせて♡』





「チ○ホ気持ちよかったか？アイル」

「ははは。。。♡ハァハァ♡チ○ホ♡気持ち。。。♡」



「これからたっぷり調教してやる、俺好みの女になれよアカリ」

「ハァハァ♡ははは。。。♡♡♡調教。。。♡♡♡」



「さあ、続きをしようなりもつともつと愛し合おうなネネ」

「あ。。。♡は、はは♡愛して♡愛して。。。♡
ご主人様あ。。。♡♡」



おめでとう!! 三人の娘は...
オジサンたちの子供を にんしんした!



ゆめと ぼうけんと！
酒池肉林のせかいへ！レッツ・ゴー！！



『コラコラ。アカリ、タイキ君に報告するんだろ?』

00

[illegible]

「た、タイキい……。私、私ね……」

赤ちゃんできたの♡この人に……。ご主人様に
孕ませてもらったの♡」

REC
00:37:

「私、ご主人様のモノになったの♡
結婚して、ご主人様のお嫁さんになるの♡」



「見て♡見て♡タイキ5555...
私が完全にご主人様のモノになった証拠
見せてあげる♡」

REC
00:37:

「ご主人様の中出しで私がイク所見てえ...♡
オナニーするのに使っていていいから♪
私のメス顔ちゃんと見ててえ...♡♡♡♡♡」





00:37:12

「んほおおおおおおおおおおおおおおおッ!!」

● REC

00:37:12

「えへへへ。。。♡気持ちいい♡
タイキいゝ実はずっと前から好きだったよお。。。」

「でも、もういいの。。。
今はご主人様が一番好きなの♡この人と
おま●こするのが好きなの。。。♡♡
バイバイ♡タイキ。。。」



「むちゆるるるるるるるるるるる。。。♡んはあ。。。♡
好き♡好き。。。♡ご主人様好き。。。♡大好き♡」

「むちゆるるるるるるるるるるる。。。ツ♡んはあ。。。♡
好き♡好き。。。♡ご主人様好き。。。♡大好き♡♡」

「もうすぐ産まれるなアカリ♪俺の女として
皆の前でカツコよく赤ちゃん産むんだぞ♪」

「ジュルルルルルルッ♡はいい。。。♡
分かりましたあ♡産みます♡皆の前で赤ちゃん産む♡
カツコよく赤ちゃん産む♡」



「55子だアカリ〜褒美はど〜に欲〜55〜」

「ハチロ♡ハチロ♡おま♡んお。。。♡おま♡んに欲〜55♡」

「ボテ腹ま♡ん中出っ♡中出っ♡でくださ♡主人様あ。。。♡」





アハハ

びん

アハハ

アハハ

「んほ♡♡んほ♡♡んほ♡♡んほ♡♡んほ♡♡」



『ボテ腹セックス気持ちいいか？ネネ♪』

『気持ち555♡気持ち5556♡おっへ気持ち555♡』

ぐちよ

ぱちゅ♡

ぱちゅ♡

ぱちゅ

ぐちよ

ぱちゅ

ぱちゅ

ぱちゅ

『赤ちゃんいるのに♡本当はいけないのに♡
旦那様のおち●ポ気持ちよくて止まらないのぉ♡♡』



『淫乱アイドルめ♪おしおきが必要だな♪』

『でてえ〜♡おしおきしてえ〜♡』



『淫乱アイドルのドスケベま○こにおしおきしてえ♡
チ○ポ様のおしおき欲しい♡』

「おほおおおおお・・・ツ!?♥チ○ポすごいいいいいツ!?♥」



『おしおきチ○ポ気持ちいい♡んほおお・・・!?♡』

『イクうううううううあああああああああああああああああああッ!!』

ド
スト
ド

ド
スト
ド

ド
スト
ド

ド
スト
ド



「チ○ポ。。。♡チ○ポおおお。。。♡!?」



「んおおおおおおおおお!?♡チ○ポおおおおお!?♡」

「ネネ♪アイドルより、俺の嫁になつた方が幸せだろ？」

「はは♡幸せ♡幸せですっっっっっ♡♡♡♡♡」

パッ

くちよ

ぱん♡

パッ

くちよ

ぱん♡

ぱん♡

ぱん♡

「旦那様の大きなチ●ポのお嫁さんになれて……
とっても幸せですううう……♡♡♡♡♡」

「うっぱら子供作ろうな♪ネネ♪」

「はぁっら♡作る♡うっぱら子供作ろう♡」

パッ

くちよ

ぱん♡

パッ

くちよ

パッ

ぱん♡

パッ

「孕ませてえ♡旦那様の子供♡うっぱら♡
うっぱら孕ませてえええ。。。♡♡♡」



『おっぱいは出る♡おま○こイクイクイクイクっ♡』



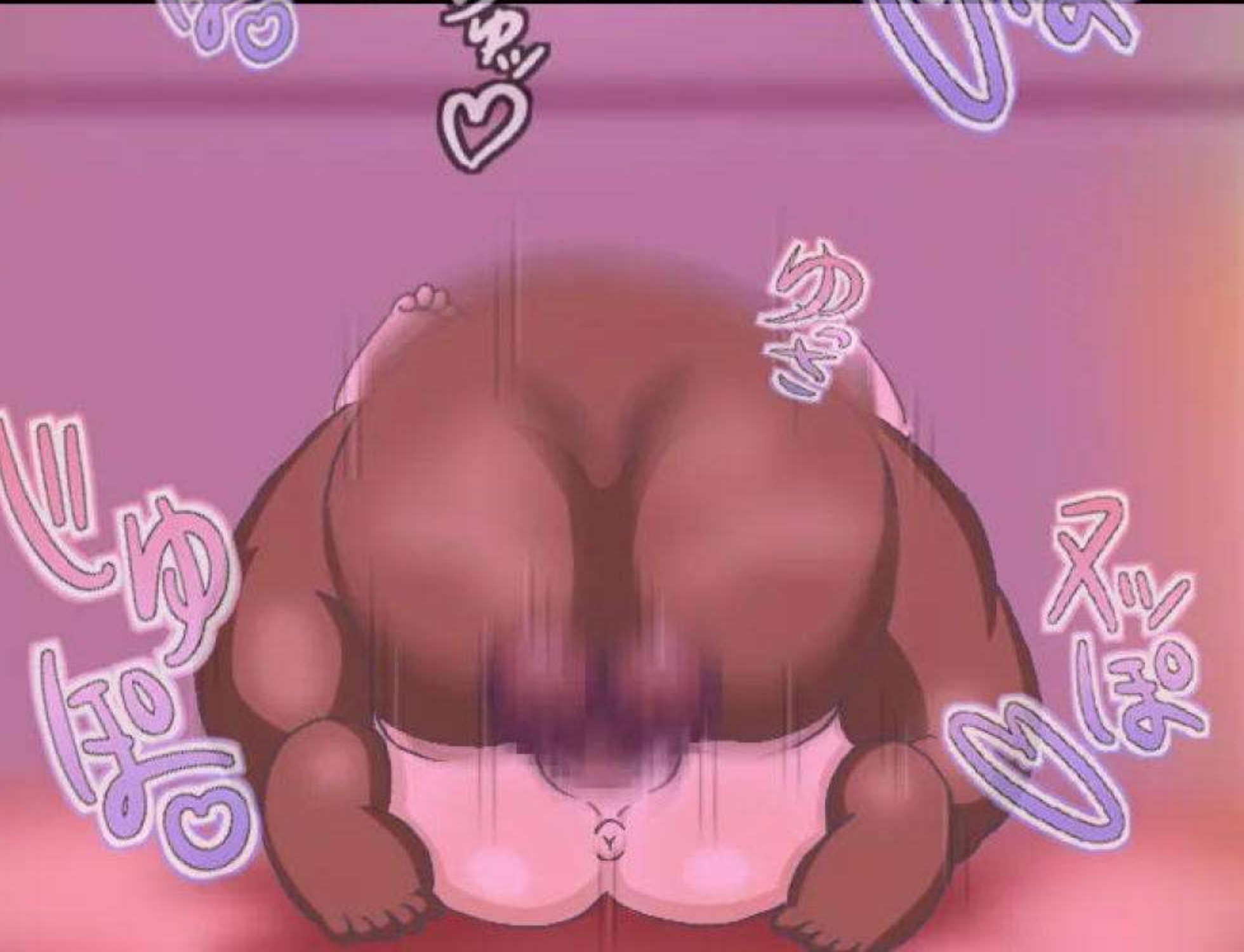
『イク。。。♡イク。。。♡またイク。。。♡』



「ハアハア♥ダーリン♥ダーリン♥キスううう。。。♥
キスしてえ♥チ○ポパコパコしながらベロチューしてえ♥」



「ビュルルルルルル♡♡ふふふふ♡♡キス♡♡気持ちいい♡♡」



「ダーリンの舌、フェラしてあげるね♡♡ヨダレもいっぱい飲ませてえ♡♡
アイルのお口もおま●こも犯してえ♡♡」

「んべえああ・・・♡ダーリンの口も汗も全部臭すぎるう♡
でも、これがいいの♡これが好きな身体になっちゃったのお♡」



「ダーリンの臭い好き♡もつと全身に塗り込んで♡
身体中♡ダーリンの臭いでマーキングしてえ♡」



「見て♡見てえ♡ダーリン見てえ♡
アイルがダーリンのチ○ポでイク所見てえ♡」



「ダーリンのチ○ポでイって♡アイルの顔が
すっごくブサイクになる所見てえええ…♡」





「おおおおおあああ・・・ツ♡」

『ダーリンのデカチ○ポやばら!♡』



『気持ちよすぎるうう♡♡いつちやう♡♡またいつちやううッ!?♡♡』

「あつはあああ。。。!?♥かけて♥かけてえ
おま◯◯に♥おま◯◯の中に。。。♥」



「赤ちゃんにダーリンのザーメン♥
ぶっかけてえええ。。。♥」



「アッ!」

「ハアハア♥私、洲崎アイルは。。。♥
ダーリンのお嫁さんになります♥結婚しまあ〜す♥」

「わ、私。。。♥陽ノ本アカリは。。。ご主人様と
結婚して♥一生愛する事を誓います♥」

「旦那様♥私、天野ネネは♥身も心も旦那様の
モノです♥私の全てをあなたに捧げます♥
私と結婚してください。。。♥」



しゅぽ

「イかせて♡イかせてえ♡ダーリンのチ○ポでイかせて♡
皆の前でイかせてえええ。。。♡」

アッ

アッ

ぬる

「ご主人様ぁ♡チ○ポでイきます♡皆の前で♡ご主人様の
チ○ポにイかせてもらいますのう。。。♡」

しゅぽ

しゅぽ

しゅぽ

「チ○ポすくの♡旦那様のチ○ポすのう。。。♡
イク♡イクわ♡皆の前でチ○ポでイかせてもらいますのう。。。♡」

ぬる

しゅぽ

アッ

しゅぽ

しゅぽ



どろろ

どろろ

どろろ

どろろ

どろろ

どろろ

どろろ



「チ●ポおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおッ!」



「チ●ポおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおッ!」



「チ●ポおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおッ!」







アッ

イッ

イッ

イッ

イッ

